

1年生国語・説明文の授業でした。郷先生をはじめ、かかわってくださった先生方、お疲れ様でした。コロナ禍ですとできなかった授業の参観を人数制限があるとはいえ、みんなでできたことはよかったですね。講師に大学教授の住田勝先生をお招きして講義が聞けたことも実り多かったです。ここでは、全員で「共有」し、「だれでも」できる「短期目標」を提案していきます。

☆今回のポイント☆

◎「書く」ために「読む」説明文教材の学習・・・書くことが思考を深める振り返りにつながる。

説明文 事例列挙型 ...1年生は全て事例列挙型
プロセス型 ...2年で初めて「たんぽぽのちえ」

比較・関係・順序・構成・図表・事実と意見・論展開...等
自分の学年で授業するなら...

<3学期に取り組みたいこと>
説明文教材の学習は、「書く」ことを意識して。
「書く」につながる「読み」のための教材研究を！
「書く」につながる適切な資料選択。

事例列挙型の説明文でつきたい力！

①例を比較する力 同じことばを探して。

類比 バス : ~はこぶしごとをしています。
トラック: ~はこぶしごとをしています。

↓

対比 バス : 人
トラック: にもつ

しごと ← どういう関係? → つくり

★構造(つくり)が違うのは目的が違うからだ！
ということに子どもたち自身に気づかせる。
←「くちばし」でも類似の学習をしている。

②カテゴリー操作(仲間わけ・集合関係)

比較だけなら2種で十分
↓
必ず3つ目が出てくる意味は？

どっちと似てる？

- ・どちらかに似ている (くちばし:きつつきとハチドリ)
- ・どちらにも似ている:ハイブリッド (海のかくれんぼ:もくずしよい)
- ・どちらにも似ていない;仲間はずれ (自動車くらべ:クレーン車)

比べないと分からない！
比べると楽しい！

③事例の順序性

⇒表現者になるための思考

(例)じどうしゃくらべ
バスや乗用車 → トラック → クレーン車

なぜ、この順序なの？

★順序を決めるのは筆者！
表現者になるため、書くために必要な思考。

1年生の発達段階における学習・振り返り

かきことば...1年生にとっては新しい学び。
↓
話しことば...1年生には「しゃべる」ことが大切。
★1年生では、「ふり返し」も「しゃべる」ことが有効。
3段階の選択等は有効だが、視点を明確に！

「書く」につながるワクッション: 今回の授業では前時(モデルを使って)

資料の妥当性を吟味する！
つきたい力は何か?...図鑑から抜き出すこと?

説明文の読み取りを生かして、比較しながら構造(つくり)を見つけ、その目的(しごと)に気づくことで“説明したいこと”を見出せる。

発見のある資料
しゃべる = かかわる
自分の気づき・学び → 「書く」